



タイ・パンヤピワット経営大学概要 (Panyapiwat Institute of Management : PIM)



タイの最大財閥である CP グループ企業 CP ALL が経営する、同国最初かつ最大の企業大学

- 歴 史
 - 2007 年 学部及び大学院修士課程開設
 - 2012 年 大学院博士課程開設
 - 2017 年 工学部にロボティクス・オートメーション工学科設立
 - 学生数 学生数 1 万 4,000 人
 - 学 部 10 学部 27 学科
(主な学部：工学部、経営学部、食品ビジネス学部、物流輸送学部など)
 - 特 徴 PIM は CP ALL の資金で設立された高等教育機関であり、学部・修士・博士課程のプログラムを提供している。企業大学として、従来の大学とは異なる教育と学習のシステムを採用しており、学生が学問や論理的な知識とあわせて実践的な側面に焦点を当てることができるよう Work Based Learning にも重点を置いている。

すべての学部学生は、正規の授業に出席することに加えて毎学期、有給のインターンシップにも参加している。PIM の卒業生は、CP ALL PCL やそのパートナー企業に就職する機会がある。企業大学とは、企業によって設立された大学で、特に仕事で求められる能力を開発し訓練するよう設計されている。
- URL <http://www.pim.ac.th/en>

B-JET を活用した外国人 IT 人材導入モデル事業
タイ PIM インターンシップ事業（第6期） 募集説明会

日 時 令和5年5月22日（月） 14：00～
場 所 北九州市 ロボット・DX 推進センター 展示室
若松区ひびきの北8-1 技術開発交流センター1 階

次 第

【B-JET 事業】

- 14:00 B-JET 概要について
宮崎大学 国際連携機構 国際連携センター 梅村研究員
- 14:20 B-JET を活用した外国人 IT 人材導入モデル事業 概要説明
北九州市産業経済局 雇用政策課
- 14:40 質疑

【PIM 事業】

- 14:45 PIM 事業 概要説明 北九州市産業経済局 次世代産業推進課
- 14:55 質疑
- 15:00 PIM 受入事例1 (株)リョーワ
第2期（令和元年度）、第4期（令和3年度）インターシップ生受入
- 15:10 PIM 受入事例2 九州鉄道機器製造(株)
第3期（令和2年度）インターシップ生受入
- 15:20 受入済企業（(株)リョーワ・九州鉄道機器製造(株)）との座談（希望企業のみ）

<タイ PIM インターンシップ事業について>

北九州市では、地域企業への理工系高度人材の供給（就職）を見据え、タイのパンヤピワット経営大学から地域企業へインターシップ生を受け入れる事業を、平成30年度から行っており、これまでに28名の就職が決定しています。

国内のエンジニアの不足への対応、海外の優秀なエンジニアの確保、海外への事業展開のネットワーク強化等の面で興味のある企業様は、是非、面談へご参加ください。

- インターシップ期間：10月～翌2月（予定）
- インターシップ候補生：8名
（自動車生産工学科2名、ロボティクス・オートメーション学科1名
生産工学・AI学科2名、デジタル・情報工学科3名）
- 申込方法：5月31日までに「参加申込書」の提出をお願いします。

地域企業での
インターシップの様子



事業の詳細は市のホームページをご覧ください（<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/10100095.html>）

「B-JET」を活用した外国人材導入モデル事業 企業募集について

1 概要

市内企業において今後ニーズが高まると予想される、外国人 IT 人材確保のため、JICA が実施したプログラムの後継事業である「B-JET」を活用し、優秀な外国人 IT 人材と市内企業のマッチング、就職に向けた支援を行うモデル事業を実施し、市内企業へ優秀な IT 人材を導入できる可能性について検討する。

2 募集対象

北九州市内の外国人材雇用を検討している IT 企業(先着2~5社程度)

3 事前説明会

令和5年5月22日(月) 14:00~15:30 事前申込が必要です。
北九州市ロボット・DX推進センター 北九州市若松区ひびきの8-1



説明会のお申し込みはこちらから

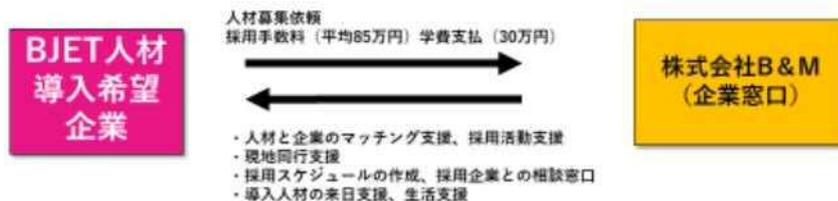
4 BJETについて

バングラデシュの優秀な IT 人材を日本の企業へ導入するため、宮崎大学が主体となって行う IT 人材雇用支援プログラム。現地で5ヶ月間 ICT スキル、日本語教育を受け、企業とのマッチングを行う。マッチングの結果、採用内定となった場合は来日し、宮崎大学で3ヶ月間の日本語学習、採用先でのインターンなどの教育プログラムを受けるか、採用企業で就労開始するか選択できる。

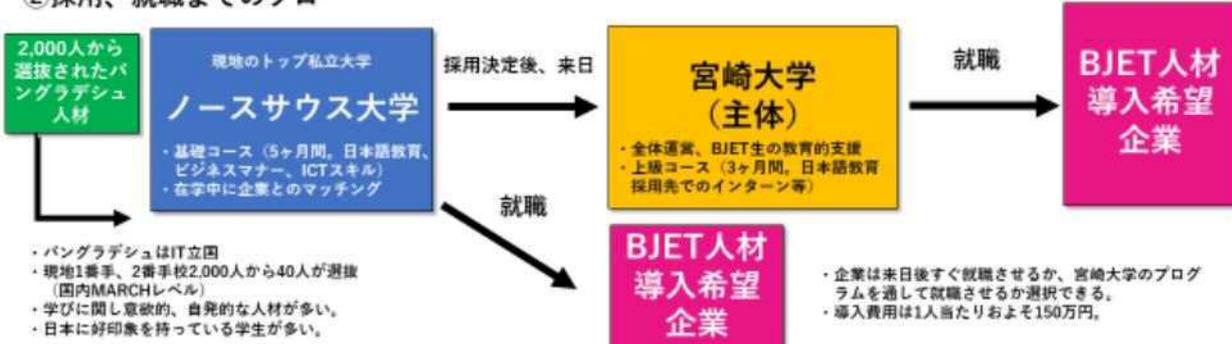
BJETプログラムの流れ

B-JET (Bangladesh-Japan ICT Engineers' Training Program) プログラム

①依頼



②採用、就職までのフロー



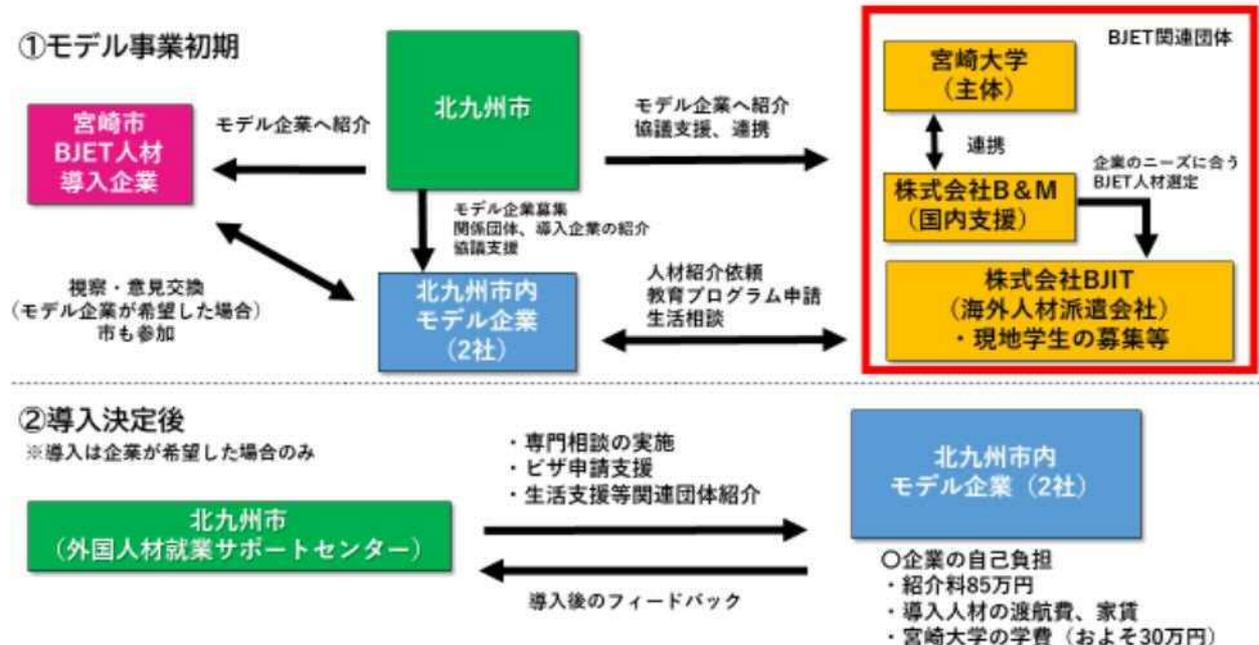
5 事業スケジュール

令和5年4月	企業募集	
5月	事業説明会開催	
6月	モデル企業決定(2~5社程度)	
6月~7月	市との面談(採用計画、関係機関との面談調整等)	
7月~8月	宮崎市 BJET 人材導入企業、運営団体(宮崎大学等)との現地協議(希望制)	
7月~10月	随時、市との協議 ※ 採用希望がない場合、ここで終了し課題等の整理	
9月~11月	採用活動開始(面接、オンライン面接、現地協議等)	採用希望ありの場合
12月	内定、採用者国内コース参加	
令和6年1月~3月	採用、プログラム終了後アンケート実施	
随 時	面談調整、専門相談、ビザ申請支援等	

6 市が実施する支援について

- ・BJET 関係団体、BJET 人材採用企業との協議、視察等の支援
- ・外国人材就業サポートセンターでの専門相談対応、ビザ申請支援
- ・日本語教育、生活支援等関連団体の紹介
- ・随時採用方針に関する協議

BJETを活用した市内企業への外国人IT人材導入モデル事業 イメージ図



7 注意事項

- ・市は紹介料や採用人材の渡航費等、導入費用に関しては一切負担しない。
- ・本事業は「BJET」を利用した人材導入の流れを体験してもらう目的であり、人材の導入は必須ではない。